

STAGE4:防災教育チャレンジプラン 2012 始まる・・・

1. 2012年のわらい

2011年度の取組の成果と課題を基に、2012年度は、校内、校外における人と人との関わりを深めることを意識しながら、**ジオパーク(G)**と**地域・住民(C)**、**防災教育(B)**の3つを関連付けた**防災教育カリキュラの開発**を校内研修課題として取り組み、市内の学校への普及および啓発を図る。そして、地域の**自主防災組織と連携した防災訓練**を行い、地域防災の構築を図る。また、防災教育を力強く推進するために、教職員には、各種災害に立ち向かう**防災戦隊チャレンジャーとしての使命**が…児童は、**GCB48のメンバー**を目指すことに…



2. プランの概要

- (1) G・C・Bと関連付けた防災教育カリキュラムの作成
- (2) 校内研修に位置付けて行う一人一研究・実践(一つ以上)の取組
 - ①防災戦隊チャレンジャー
 - ②非常サイレンの日
 - ③非常用発電機の研修
 - ④防災を取り入れた運動会種目
 - ⑤指導案検討・公開授業研修
- (3) GCB48メンバーの育成に向けた防災MISSIONの取組
 - ・防災教育カリキュラムと関連付けた防災MISSION計画を作成し、定期的に宿題として児童にMISSIONを提示する。
 - ・MISSIONをクリアすると、チャレンジャーカードを1枚取得することができる。カードをたくさん集めると対戦型の防災ゲーム(災害マネジメントカードゲーム)が行える。
- (4) 保護者・地域住民参加の防災研修機会の設営
 - ①地域防災懇談会
 - ②サプライズ避難訓練
 - ③防災・宿泊体験学習(DIG・避難所研修・発災対応型防災訓練・児童引き渡し訓練)
- (5) チャレンジャー通信(Making of 防災教育チャレンジプラン:防災研修資料)の発行

3. プランのポイント!

防災教育に取り組む児童にとって、また教職員にとってもその取組が楽しく感じる工夫を念頭において実践した。

- ・教職員全員を防災戦隊チャレンジャーとして防災教育にかかわらせたこと
- ・防災戦隊チャレンジャーのキャラクターイラストを作成したこと
- ・キャラクターを防災MISSIONやチャレンジャー通信、チャレンジャーカード等に積極的活用し、児童や他校に関心をもたせたこと
- ・GCB48のセンターを目指せ!など、流行を取り入れたこと
- ・一人一研究・実践(一つ以上)で自分がやれることやりたいことに取り組んだこと

次頁、チャレンジャー通信①～⑦をご覧ください。



展知小発! ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育 2012



防災教育チャレンジプラン2012が始まります。(※よめないじは、おうちのひとからおしえてもらってね)

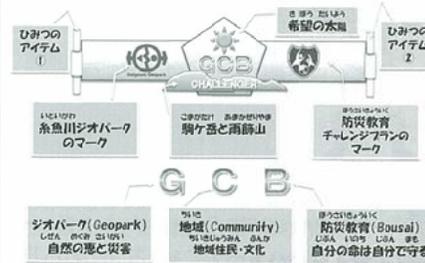
今年度は、教職員一人ひとりがアイデアを出し、それぞれの立場で防災教育を進めていきます。その第1弾は、防災戦隊チャレンジャーとGCB48です。

1. 防災戦隊チャレンジャー参上!

防災教育チャレンジプランに挑む教職員が、防災戦隊チャレンジャーに変身! チャレンジャーは、さまざまな災害から命を守るための知識や技能を身につけるために、工夫をこらして、児童や保護者、地域のみなさんにMISSION(ミッション)を与えます。チャレンジャーのモットーは、アイデアと行動力、そして発信力!。ご期待ください!



その1:チャレンジャーベルトのひみつ!



2. チャレンジャーベルトのひみつ!

チャレンジャーベルトには、当校の防災教育の大事な3つの視点が記されています。Gは「ジオパーク(Geopark)」、Cは「地域・住民(Community)」、Bは「防災(Bousai)」です。この3つの視点と社会福祉をからめて、学校の教育活動を展開していきます。目指す力は、「自分の命は、自分で守る」! 「自分で考え行動し、自己肯定感を高める児童の育成」を教育課題として取り組みます。

3. チャレンジャーのひみつ!

その2:チャレンジャーレッドのひみつ!



その3:チャレンジャーブルーのひみつ!



その4: チャレンジャーグリーンのみみつ!



ミッションは、地震から命を守ること!

変身する前は体力向上を担当する先生

ひみつのアイテムの一つは、家具転倒防止棒!

その5: チャレンジャーイエローのみみつ!



ミッションは、感染症から命を守ること!

変身する前は健康・安全を担当する先生

ひみつのアイテムの一つは、マスク!

その6: チャレンジャーホワイトのみみつ!



ミッションを出し、防災教育を進める!
大雪や雪崩から命を守る!

Bは、防災(Bousai)教育のB

ひみつのアイテムの一つは、ハザードマップ

その7: チャレンジャーブラックのみみつ!



ミッションを出すか、味方が敵か?

Gは、ジオパーク(Geopark)のG

ひみつのアイテムの一つは、ハンドマイク

Cのチャレンジャーはだれ?・・・チャレンジャーは他にも!(ご期待ください)

4. GCB48のひみつ!

子どもたちには、チャレンジャーから防災にかかわるさまざまなミッションが与えられます。ミッションをクリアすると、チャレンジャーカードがもらえ、48枚集めると、GCB48(防災に関する知識や技能を身につけた児童に与えられる称号)のレギュラーメンバーになります。家族で協力して、GCB48のレギュラーメンバーを、さらにセンターをめざして頑張りましょう!

GCB48のメンバーになろう! GCB48のセンターをめざせ!



チャレンジャーからだされる防災クイズやミッションをクリアして、チャレンジャーカードをあつめよう!

☆6まいで、GCB48のみならいのみならい
☆12まいで、GCB48のみならい
☆24まいで、GCB48のじゃんメンバー
☆48まいで、GCB48のレギュラーメンバー
※にんていステッカーがもらえるよ!

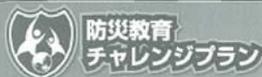


毎週金曜日にクイズをだします! 家族で相談して答えましょう!

48まいあつめると! 対戦型のカードゲームになる? 対戦型のカードゲームになる?
あつめたあとも、家族で楽しもう!

※まい年レギュラーメンバーは48人まで! 中学校へ入学したら、ぞつごうします。
※2月までに、いちばんあつめあつめた人がセンターに!

最初のミッションは、5月2日(火)を予定しています。
高学年のみなさんが48枚をクリアするには、ジオパーク検定に合格(いっきに12枚ゲット)しないと今年中に48枚を集められないかも?今から検定に向けて、勉強をしよう! ※注意! DMカード(Disaster Management)は、チャレンジャーカードの48枚には含まれません。
お問い合わせ先 防災戦隊チャレンジャー事務所 (根知小学校内 025-558-2100)



チャレンジャー通信【2012.5.25】
—根知っ子防災MISSION—



根知小発! ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育 2012



☆根知っ子防災MISSIONについて

※よめないじは、おうちのひとからおしえてもらってね

5月2日と5月11日の2回、防災MISSIONが出されました。それぞれのMISSIONをクリアするとチャレンジャーカードまたはDMカードがもらえます。

防災戦隊チャレンジャー!



チャレンジャーカード(表)



DMカード(表)



学校から見える駒ヶ岳と雨飾山

- 1回目は、防災戦隊チャレンジャーにかかわる問題でした。
低学年は、「①それぞれのチャレンジャーは、根知小学校の職員のだれでしょうか?」
中学年は、①+「②ひみつのアイテムはなんでしょう?」
高学年は、①+②+「③他のアイテムを考えよう!」
前回のチャレンジャー通信をしっかり見ていたかどうか確認するための問題でしたが・・・。
- 2回目は、火災にかかわる問題でした。
低学年は、「①避難するときに、〈お・は・し・も〉の4つのことを守らなければなりません。それぞれの文字〈お〉〈は〉〈し〉〈も〉からはじまる4つのはなにか?」
中学年は、①+「②自分の家に一番近いところにある消火栓を確認し、家と消火栓のある場所が分かるように地図をかき、お家の人に確認してもらいましょう。」
高学年は、①+②+「③自宅に火災警報機を設置すること(平成23年6月までに)が義務付けられています。A~Dについて、正しいものは○、まちがっているものは×をかきましょう。(※A~Dは省略)」という内容でした。現在集計中です。



今後、地震や津波、豪雨、土砂崩れ、竜巻、雪崩などの自然災害に加え、校内での安全や交通事故について、学校行事や各学年の教科の学習と関連付けてMISSIONが出されます。家族一緒に考え、防災意識と知識を高めてもらいたいと考えています。

ニューチャレンジャー登場!

その8: チャレンジャーグレーのみみつ!



ミッションは、事故から命を守ること

変身する前は安全環境を整える人

ひみつのアイテムの一つは、誘導ライト

その9: チャレンジャーピンクのみみつ!



ミッションは、不審者から命を守ること!

変身する前は、...ひみつです

ひみつのアイテムの一つは、防犯ブザー!



根知小発！ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育 2012



☆第1回地域防災懇談会開催

※よめないじは、おうちのひとからおしえてもらってネ

5月19日(土)の休日授業参観日、学校保健委員会(テーマ:自分のからだは、自分でつくる)に引き続き、保護者と根知振興協議会のメンバー、学校職員を対象に、地域防災懇談会(テーマ:自分たちの地域は、自分たちで守る)を実施しました。

講師には、地域の自主防災組織を中心となって立ち上げ、現在も活動をされている方々をお招きしました。



○丸山明三様(小滝地区自治振興協議会会長)

小滝地区は、地形的な特徴から雨で土石流が発生しやすく、記憶にある7.11水害をはじめ何度も甚大な被害を被ってきた地区です。また、平均年齢が70歳を超え、地区内で消防団を維持することが困難になっています。しかし、災害への備えが大事であるという思いから、平成20年に自主防災組織を立ち上げ、毎年防災訓練(避難所への避難・消火訓練・救急法・炊き出しなど)を行っています。火災警報機の設置率も95%であり、住民は、「自分のことは自分で守る」を合言葉に、また、隣同士声を掛け合いながら生活することを心がけています。

○野本和宏様(防災士・上刈地区防災会会長)

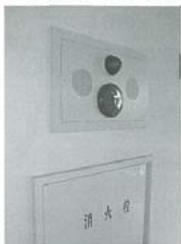
糸魚川市の7.11水害や中越地震での復旧作業に携わったことが、自分の住む地区の防災を真剣に考えるきっかけとなった。平成23年2月、区長の「実働的な防災組織がほしい」のつぶやきを聞き、青年会で防災会を立ち上げることを決意しました。その後の3.11...6月には防災会発足式、民生委員との懇談会...11月に上刈区で初めての防災訓練(地震・津波を想定、避難所設営、消火訓練、けが人の運搬、救急法、炊き出しなど)を実施してきました。24年度も、避難所宿泊体験などの防災訓練を計画しています。

お二人とも自主防災組織を立ち上げようと決意してから動きがはやく、精力的に地域防災を進められております。お二人の地域・防災への熱い思いが感じられ、とても参考になるお話を聞かせていただきました。

☆非常サイレンの日

これまで根知小学校では、年に3~4回の避難訓練を実施して来ましたが、今年度はさらに、毎月「非常サイレンの日」を設け、確実に避難行動ができるように目指します。

「非常サイレンの日」を継続して実施することで、まず「非常サイレンがなったら、その場で活動をやめ、静かに聞くことができる」、さらに「自分で状況を判断し、的確な行動ができる」力を養いたいと考えています。第1回は5月11日の昼休みに行われました。(以下は、職員評価の一部です。)

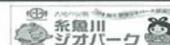


- ベルの音とともに、体を低くして身を守ろうとしている児童、ハンカチを口に当てて机の下に隠れた児童など「今、自分にできること」をしようとしている姿が見られた。
- 体育館では、低学年と中学年の数人が遊んでいたが、非常サイレンとともに全員が低姿勢になり、放送を最後まで聞いていた。
- 放送中、しゃべろうとした1年男子に対し、中学年女子が「しっ!」というジェスチャーで優しく注意をすることができた。
- ▲ ベルが鳴っている間も、放送の間も給食の片付けをしようとしていた。
- ▲ ピロティで放送が聞こえにくかった児童が、しっかり放送を聞こうと校内に移動したが、不安だったのか近くにいた高学年の所にまで移動しようとしていた。

第1回避難訓練(火災想定)は、5月24日(木)に実施しました。



根知小発！ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育 2012



☆チャレンジャーの挑戦!第2弾、第3弾・・・

※よめないじは、おうちのひとからおしえてもらってネ

チャレンジャーの挑戦!第2弾は、チャレンジャーイェローによる「非常サイレンの日」ですが、6月2日(土)の創立40周年記念大運動会では、第3弾、第4弾とチャレンジャーの挑戦が続けられました。

第3弾!チャレンジャーグリーンが発案で、3・4年生が防災を意識したチャンスレース「助けて!助けて!」を行いました。



助けて!助けて!

今日は避難訓練にチャレンジです。ピストルが地震発生の合図です。素早く自分の防災頭巾を選んでかぶります。地震の後は火災発生!低い姿勢になる練習として、ハードルの下をくぐります。次にグラウンド中央にあるカードを目指します。カードは赤色と青色があります。赤いカードは助けてカード、青いカードは助けるカードです。赤いカードはもう避難できないので、赤いカードの裏に書かれた人にゴールまでおんぶしてもらいます。逆に青いカードは元気モリモリなので、カードの裏に書かれた人をおんぶしてゴールまで走ります。どっちのカードを選ぶかは自分で判断します。ちなみに、赤いカードには校長先生、家族、大人、応援団長、高学年などが書かれています。青いカードには1年生、2年生、幼児と書かれています。(アナウンス原稿より)

第4弾!チャレンジャーブラックからは、プログラムに予定のないサプライズ企画「アヒルちゃんを救出せよ!」のMISSIONが、児童だけでなく居合わせたご来賓、保護者の皆様に出されました。

アヒルちゃんを救出せよ!

【ホイッスル音】避難訓練!緊急地震速報が出されました!

能登半島沖で大きな地震発生、まもなく大きく揺れる可能性があります。全員、建物からはなれて、グラウンド中央に移動し、姿勢を低くしてください。・・・只今大きく揺れています。・・・

【非常サイレン鳴動】只今の地震により、教室から出火!

これより紅白玉入れにかえて、消火訓練を紅白対抗戦で行います。教室前にあるタフブネ(700)の中に、炎にみだてたカラーボール5つと助け出すアヒルちゃんが1びき入っています。ポリバケツ(1200)には、水が溜めてあります。バケツ4つを用いて水を運び、火を消すようにタフブネにかけます。早く中のアヒルちゃんを外に出すか、ボール5つ全部を外に出すかしたチームの勝ちです。もし両チームとも途中でポリバケツの水が全部なくなったら、出したボールの数が多い方が勝ちとなります。炎で危険ですので、白い制限ライン(距離2m)よりも前にすることはできません。参加者は、児童と地域のお年寄りですが、応援リーダー以外は声を出さず、すべてリーダーの指示で動きます。消火開始!の合図で、リーダーは、まず地域のお年寄りに声をかけ10人以上の協力者を確保してから消火活動をはじめましょう。開始前に1分間の作戦タイムを与えます・・・では消火開始!





根知小発！ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育 2012



☆今月の「根知っ子防災MISSION」

※よめないじは、おうちのひとからおしえてもらってネ

今月は、3回目・4回目の2回、課題が出題されました。

○3回目は、6月1日から道路交通法施行規則の一部が改訂になったことを受け、学校や家庭で安全に生活するための約束ごとにかかわる問題でした。

1年生は、主に廊下や階段、教室での行動について○×問題を5問

2年生は、1年生の問題に加え、自転車の発進・停止について○×問題を5問(計10問)

中学年は、2年生の問題に加え、改訂になったルールについて○×問題を5問(計10問)問題(抜粋)



②自転車(運転者が13歳未満の子どもや70歳以上のお年寄りのはぞく)は、人が歩く歩道ではなく、車と同じ車道を通る。・・・()

③サンダルをはいて自転車を運転する。・・・()

⑦雨が降っていたので、傘をさして運転する。・・・()

⑩イヤホンやヘッドホンして両耳をふさいで音楽を聞きながら運転する。・・・()

高学年は、中学年の問題に加え、5月に関東で甚大な被害を与えた竜巻(※竜巻報道後、理科の「天気の変化」の授業で学習した予兆と対応の仕方)について○×問題を5問(計15問)

○4回目は、避難行動と梅雨入りに伴い発生しやすい雷にかかわる問題でした。

1年生は、学校の非常口がどこにあるか、校舎図に記入する問題

2年生は、1年生の問題に加えて、「非常サイレンの日」のねらいである非常サイレンが鳴った時どうしたらよいかを答える問題

中・高学年は、1年生の問題に加え、雷の予兆と対応の仕方について○×問題を5問

全問正解しないとチャレンジャーカードがもらえませんが、子どもたちは、手元のカードが増えることを楽しみに、MISSIONの入った封筒を教務室に届けに来ています。少し子どもには難しくなるよう問題を考えてありますので、積極的に家族一緒に考え、協力していただきたいと考えています。

☆ニューチャレンジャー登場！ついに、Cのマークの・・・

その10:チャレンジャーターコイズのひみつ！



ミッションは、津波から命を守ること！

変身する前は、・・・ひみつです

ひみつのアイテムの一つは、防災ラジオ！



その11:チャレンジャーレインボーのひみつ！



ミッションは、地域防災をすすめること

変身する前は、地域の・・・

ひみつのアイテムの一つは、防災無線！



根知地域の自主防災組織準備委員会が5月29日に行われ、今年の9月を目標に自主防災組織を結成するよう着々と準備が進められています。C(Community)のマークを付けた待望のチャレンジャーはレインボー(根知防災会会長さんです)！ 残るチャレンジャーは、2人！



根知小発！ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育 2012



☆今月の「根知っ子防災MISSION」

※よめないじは、おうちのひとからおしえてもらってネ

今月は、5回目・6回目の2回、課題が出題されました。

○5回目は、不審者やクマ出没情報が多く寄せられていることや豪雨災害や熱中症のニュースを受けた問題でした。



1年生は、不審者対応の「いかの・お・す・し」について5問

2年生は、1年生の問題に加え、クマの被害にあわない方法について○×問題を5問(計10問)

中学年は、2年生の問題に加え、雨の日や豪雨について○×問題を5問(計15問)

高学年は、中学年の問題に加え、熱中症について○×問題を5問(計20問)



○6回目は、夏休みを前に水難事故を防止するための問題と地域防災にかかわる問題でした。

1年生は、川の事故について○×問題を5問

2年生は、1年生の問題に加え、プールの事故について○×問題を5問(計10問)

中学年は、2年生の問題に加え、海の事故について○×問題を5問(計15問)

高学年は、中学年の問題に加え、地域防災(自助・共助)について○×問題を5問(計20問)

例 ①～⑤は○か×か？

①防災の基本は「自分の命は自分で守る」「自分たちのまちは役人が守る」である。

②わが家の安全は、「耐震補強」と「家具の転倒防止」、「家庭用火災警報器の設置」からはじめることが大切である。

③災害が発生した直後は、自分や家族、近所の人たちで協力してなんとかするしかない。

④地域住民が話し合い、いざというときの避難の呼びかけや救助、初期消火、避難所の運営などを行うために自主的に組織するのが自主防災組織である。

⑤災害発生時は危ないので、子どもは大人の指示が出るまでじっとしているほうがよい。

☆GCB48みならい生誕生！

12枚ゲット！おめでとう！あなたは、GCB48みならい生！
チャレンジャーDMカードケース



これまでの防災MISSIONで、チャレンジャーカードを12枚以上ゲットし、GCB48のみならい生の資格を取得した児童は7名！

GCB48みならい生には、ゲットしたチャレンジャーカードとDMカードを収納する専用ケースをプレゼントします。

不審者に注意！

4月以降、糸魚川市内で不審者事案(声かけや連れ去り未遂等)が多数報告されています。「ついていかない・車にのらない・おごえをだす・すくにげる・しらせる」(いかのおすし)の対応ができるように、日頃から「いかのおすし」を意識し、すこしましょう。



特別編：防災・宿泊体験学習 2012 根知っ子よ10の特別使命をクリアせよ！

1. 自主防災組織と合同で行う防災訓練が

昨年度実施した防災・宿泊体験学習を今年度結成予定の自主防災組織と合同で行う防災訓練として、7月中に実施するよう計画していた。しかし、自主防災組織の結成の見通しがつかめなかったため、急ぎよ5月に結成を促すための地域防災懇談会を開催することにした。さらに、防災・宿泊体験学習を9月実施に変更し、ねらいも「地域防災や避難所運営を研修すること」に変更して進めることにした。

2. 地域防災・避難所研修へ向けて

防災危機管理者養成講座で学んだDIG(災害図上訓練)と発災対応型防災訓練を9月の防災・宿泊体験学習に取り入れようと計画し、防災士である管理員に、DIGの準備と当日の指導を依頼した。そして、防災・宿泊体験学習では、地域住民及びこれから結成される自主防災組織のリーダーが避難所運営のknow-howを学ぶことができるよう、担当者が防災士養成研修を受講し、その知識・技能を身につけた。

また、準備にあたっては、実施計画案の検討会で出された意見をできるだけ取り入れ、担当するMISSIONの決定は、**教職員の自発性を重視**した自己選択制とした。

3. 防災・宿泊体験学習の概要

(1) 期 日 2012年9月6日(木)・7(金)

(2) 対 象 全校児童 31名 教職員10名

(3) 内 容

①保護者授業参観中のサプライズ避難訓練

①MISSION1: 災害図上訓練(DIG)

②避難所研修(過去の災害に学ぶ)

③MISSION2: 避難所ルールをつくれ! 学校職員は非常用発電機を準備せよ!

④MISSION3: 避難所生活を準備せよ!

- ・トイレ用水の確保 ・非常食の配分と準備 ・毛布の配分
- ・居住スペースの確保とパーティションの設置 ・情報掲示板の作成

⑤MISSION4: スタンプで避難所生活を明るくせよ!

⑥MISSION5: 電気のない夜をすごせ!

⑦MISSION6: 避難所生活を振り返れ!

⑧MISSION7: 安否札を各家庭に配布しながら地域の防災資源を確認せよ!

⑨MISSION8: 飲める水をさがせ!

⑩MISSION9: 火事だ! 消火器で火を消せ!

⑪MISSION10: 水害だ! 土のうを積み上げろ!

⑫特別MISSION: ヤマメをつかまえろ!

⑬保護者炊き出し訓練

⑭保護者への児童引き渡し訓練

根知小発! ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育 2012



根知っ子よ! 10の特別使命をクリアせよ!

2012.9.6~9.7

1. わらい

①集団宿泊体験行事を通して、自然災害や災害発生時の対応について理解を深めるとともに、人間関係形成能力、意思決定能力、情報活用能力、将来設計能力の4つの能力を育む。

②保護者及び地域住民と地域防災の在り方について考え、学校と家庭、地域の連携を図る。

2. 日程

★避難訓練(14:13) 5限の保護者授業参観終了間際に、震度5強の地震を想定した避難訓練を抜き打ちで実施し、保護者にも避難行動を指示しました。



避難訓練! 午前中の大雨と、ただ今の地震により、地域内各所で地滑りが発生! 避難勧告が出されました。体育館が避難所になります。体育館へ2次避難しなさい!

○開校式(14:30)

★MISSION 1: 地図をみて逃げ方を考えろ! 災害図上訓練DIG(14:40)



まず地図上の自宅位置を確認し、消火栓や消防小屋、避難所などの防災資源をマークします。その後、授業で調べた広場(低学年)や水神様のある場所、湧き水が出ている場所(中学年)など、災害や防災にかかわるものをどんどん書き込んでいきました。その後、土砂災害のVTRを視聴し、地域内の予想される浸水域を考え、その危険性や対策を人的及び物的側面から意見交換しました。さらに、地滑りが発生したとして、同様の意見交換を行いました。また、市で作成したハザードマップで、想定される被災地域を確認した上で、「釜石の奇跡」のVTRを視聴し、「想定を信じるな!」の教を学びました。

★避難所研修(4:40) 体育館を避難所とした生活を行う前に、自助・共助の大切さを阪神淡路大震災の状況を例に研修を行いました。



「自分の命は自分で守る」は自助、「自分たちの町は・・・」は共助、避難所生活においても自助・共助が求められます。しかし、避難所に避難する前に家や家具の下敷きになっては話になりません。自宅の耐震補強と家具の転倒防止がまず大事であることを確認した上で、消火器の使い方や避難所の状況について研修しました。避難所にあるものは「命」「情け」「知恵」、これらを最大限に活かすことが大事です。

☆MISSION2:避難所のルールをつくれ!(17:20)

※条件「保護者は老人役」「先生は先生役(但しM先生だけは日本語が話せない外国人のキャサリン、教頭はチャレンジャーブラック!)」「縦割りの班が仮想の地域住民、地域単位で居住スペースを共有」「使用スペースは体育館棟のみ」「電気が使えない(非常用発電機と懐中電灯)」「水道水が使えない」「翌朝までの食事は、少な目のアルファ米とカンパン・ペットボトルの水」「何枚あるか分からない毛布と段ボール板」など
児童と一緒に泊りのつもりで参加した保護者にとって、いきなり老人として避難所生活の主人公へ・・・この避難所において、児童、保護者(老人)、学校職員は自助・共助として何をどうすればよいのか?



校長先生が使える場所を説明 避難所長(老人代表)が全体に指示 班(地域)ごとにルールを確認

(18:08)初めての試みに、児童・保護者は「何をどうすれば・・・」、学校職員は「どこまで指示を出せば・・・」、とりあえず班で考えて行動したもの・・・ブラックからの集合の指示!「リーダーはだれですか?リーダーはできるだけ動かずに班員へ指示を出しましょう。避難所にどういう人が何人いるのかの確認が重要です!もしも食料や毛布などを早く取りに来た人から一つずつ配布したら・・・。活動している人は、作業内容や活動時間を全てで確認してから動いているのでしょか・・・何もしていない人はやることがないのでしょか?・・・日が暮れて暗くなったら大変!・・・」黒板は、試行錯誤の結果!



生活に必要な情報が記入され黒板

☆MISSION3:避難所生活を準備せよ!+職員は発電機と投光器を準備せよ!(18:10)

- ①トイレ用水の確保 ②居住スペース作り ③非常食の配給・食事 ④毛布の配給



①(断水設定のため)トイレの水が出ないので、代わりにプールの水をバケツでくみ、各トイレまで運搬しました。夜に足りなくならないよう、大きなポリバケツにも汲み置きました。②居住スペースと共有スペースをどこにするか決めました。地域や男女のスペースを間仕切るパーティション(段ボール板)の脚を組み立てに時間がかかりました。床には、プラスチック段ボールや体育館にあったゴザを敷きました。③朝までの非常食は、アルファ米とカンパン、スープ、水の4種類、どれも微妙に足りない数量です。夕食・朝食では何をどれくらい食べるのか、老人の方にはどんな食事がよいかを考えました。(おっと!日本語が話せないキャサリンと学校職員分を忘れていませんか?)アルファ米は、水を入れてから1時間たたないとおいしく食べられません。「予定のスタンプの時間に間に合わない!どうしよう?」④作業をしていると汗が止まらない、避難所はこのまま蒸し暑いのか?それとも・・・とりあえず毛布の数は、足りたので「ホッ」非常用発電機は、研究主任(チャレンジャーグリーン)の発案で、5月にその使用方法を研修していました。そのためスムーズに始動!でも、「どこで使用するといいいのか?」意見が異なり迷う場面もありました。

☆MISSION4:スタンプで避難所を明るくせよ!(19:20)



これは何でしょうか?(児童) OOで、お・と・し・よ・り〜(保護者) 非常食をいただきます! 中学年が着てた枝豆も非常食に!

班ごとに、クイズやジェスチャーゲーム、じゃんけんゲーム、(目隠しした人の手を引いて)目隠しリレーの出し物を行いました。保護者もすてきなOO文字で、避難所を和ませてくれたので、学校職員も負けじと続けました。

スタンプが終わったころ(20:20)、アルファ米も食べごろになり、ようやく夕食にありつけました。非常食のアルファ米が美味しいのには、みんな驚いていました。

☆MISSION5:電気のない夜をすごせ!(21:00) 21:00ピッタリに発電機停止により消灯!



2日目の朝

22:30頃には、会話する声もなくなり朝までぐっすり・・・6:00起床!そして、ラジオ体操!

☆MISSION6:避難所会議 避難所生活を振り返れ!(7:00)

はじめてづくしの避難所体験では、体験したことを振り返り次回に活かすことが大切です。できなかったことだけでなく、よくできたこともしっかり振り返りました。



このころ断水を解除しようと止水弁を回してみるが・・・水が出ない!バルブが壊れて本当に断水に!振り返りが終わった班から朝食を食べ、自発的に避難所の後片付けと清掃に取り掛かりました。

★ウオーラリー(8:30)

抽選で選んだ安否札配布コース A~D(下根知地域)の防災資源を確認しながら、コースの途中でMISSIONに取り組みます。学校へもどってくる前に、必ず下根知農村公園(チェックポイント:CP)を通らなければなりません。

途中のMISSIONに使用する水質調査キットの使い方を理解するために、市が保有している災害時浄水器でろ過した水(大雨で濁っていた根知川の水)で試してみました。

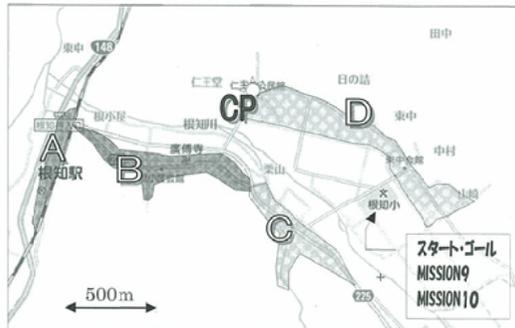
※ウオーラリー出発間際、まだ断水状態は続いています。MISSION9の準備や炊き出し訓練ができない!・・・出発予定は9:00!

水が復旧しない中、予定通り9:00に、班ごとにスタートしました。

☆MISSION7:安否札を各家庭に配りながら、地域の防災資源を確認せよ!



「安否札ってなに?」「どういうものを作ればいいのか?」5、6年生が提案し、時間をかけてつくった安否札。使い方を住民に説明しながら各家に配付しました。夕々の子どもの訪問に、受け取ったお年寄りの話にも熱が入ったようです。さっそく学校にお礼の電話があり、配付した側もとてもうれしくなりました。道中、地域内の消火栓や消防小屋などの防災資源を確認しました。



☆MISSION 8: 飲む水をさがせ！(飲み水調査)



出発前に、水質検査キットの説明を受け、キットをもって？出発！コース図に記された湧き水を探し、飲む水かどうか調べました。「場所が分からない」「湧き出ている水が出ていない」「検査キットが・・・」とハプニングもありましたが、見つけることができた湧き水は、すべて適正範囲でした。

☆MISSION 9: 火事だ！消火器で火を消せ！



水が出ない！水道水が使えないと水消火器に水を詰められない・・・参加していた特別MISSION担当のIさん(保護者)の発案で、急ぎょ消火栓での放水を行うことになりました。Iさんは、消防団員であるため、訓練は本格的なものでした。Iさんは特別MISSIONの準備があるため、その後を女性消防団員であるSさん(保護者)に引き継ぐことに・・・。後半2つの班は、予定していたMISSIONを実施しました。「火事だ！」の声を聞き、校舎1階にある消火器を集め、的に向かって放水！(事前の学習が活かされました！?)

☆MISSION 10: 水害だ！土のうを積み上げろ！



「水害だ！土のう袋に砂を詰め、約50m離れた築山の手前に積み上げろ！自分たちで、スコップや一輪車などの必要なものを校内から探し出し、土のう12袋を三段に積み上げました。重労働でした。

☆特別MISSION: ヤマメをつかまえろ！



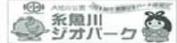
紐で4匹つかまえること！ 包丁を使わずにCOを取り出し... 塩焼に(3時間焼き続けました) はしも使わずにきれいに食べました！
チェックポイントでは、お楽しみ企画の特別MISSIONが待ち構えていました。ヤマメをつかみ取りして、食べることで。児童が起きる6:00前に、下見をし・・・Iさんがすべてを準備してくれました。ヤマメを放流した川は、湧き水が流れ込んでいるためとても冷たく、暑さを忘れさせてくれました。

★炊き出し訓練(保護者対象)

「水が出ない！」緊張感が高まりました。「本当の避難所だったら・・・」と前向き思考で、食器を洗わないなどの水を節約する知恵を出し合いました。さらに、取って鍋でご飯を炊くために、図書室で作り方を調べ・・・この状況下でも、みんなでおいしいカレーライスを食べることができました。

★児童引き渡し訓練(14:10) 13:30の引き渡し予定時間を大幅に超過してしまいましたが、ご協力ありがとうございました。事前に登録された保護者・代理者であるか確認し、児童を引き渡しました。

根知小発！ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育2012



☆地域で安否札を活用した防災訓練が行われました！※よめいじは、おうちのひとからおしえてもらってネ

9月7日(防災・宿泊体験学習の2日目)に、全校児童で下根知地域の各家庭に安否札を配布しました。その後、根小屋地区が10月14日(日)に防災訓練を行った際、避難したことを示すために、安否札を玄関先につるしてから避難することを試みられました。自分たちでつくり手渡ししながら配布した札が、実際に使ってもらったことを児童だけでなく学校職員も喜んでます。

担当者からは、「札を活用して100%近い満足感を得たけれど、「だれが避難を確認するのか」「(訓練の時)留守であることが分かってしまう」などの課題も・・・」という感想も伺いました。課題を明らかにしていくことが防災訓練だと考えておりますので、こうした感想をぜひ学校へ届けてください。

上根知地域や小滝地域へは、高学年が総合的な学習の時間の学びの一環として、全家庭へ配布するよう取り組んでいます。



9月7日 安否札を配布している様子



系川タイムズ(2012.10.20)より

☆9月～11月の「根知っ子防災MISSION」

2学期はこれまで、6～10回目の計5回MISSIONが出題され、ゲットしたチャレンジャーカードが30枚を超える児童がではじめました。GCB48のレギュラーになれる日は近い！これまでの代表的な課題を紹介します。

○6回目(8月31日)は、防災・宿泊体験前に、地震でゆれている場合の行動の仕方や校舎内にある消火器の設置場所を確認する課題でした。



- 1年生は、地震でゆれているときの行動について、○×問題を4問
- ①ガラス窓やたおれそうな移動黒板から離れる。()
 - ②上から落ちてくる物によって、けがをしないよう、机の下にもぐって、机のあしをにぎる。()
 - ③机のあしは、左の図のようにしてにぎると、机がたおれにくい。()
 - ④机などもぐれるものがないときは、両手で頭をおさえ、ダンゴムシのように体を小さく丸め、頭と首を守る。()

2～6年生は、1年生の問題に加え、消火器が校舎内のどこにあるかを確認する問題

○7回目(9月14日)は、防災・宿泊体験学習の振り返り問題とプランコの使用法などにかかわる問題でした。

低学年は、創立40周年記念事業で記念品としていただいたプランコの使用法について、○×問題を4問

中学年は、低学年の問題に加えて、地震について○×問題を4問

高学年は、中学年の問題に加え、消火器の使用手順(3段階)についての問題を1問



根知小発！ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育 2012



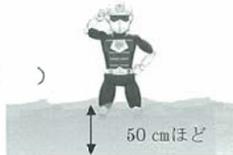
☆続「根知っ子防災MISSION」

○8回目（10月5日）は、津波と土砂災害にかかわる問題でした。
低学年は、「もしあなたがいた建物に、高さ50cmほど（ひざをこえる高さ）の津波（流れる水）がきていたら・・・」について、○×問題を3問

- ①流れる水の中を歩いてにげる。()
- ②玄関から水が入ってこないように、手でしっかりとドアを押さえる。()
- ③その建物の中で一番高いところへにげる。()

中学年は、低学年の問題に加え、さらに○×問題を4問

高学年は、中学年の問題に加え、土砂災害の種類3つを答える問題



○9回目（10月19日）は、新たにインフルエンザなどの感染症やジオパークについての問題が出題されました。

低学年は、根知小学校での手洗いの仕方を正しい順番に並び変える問題

中学年は、低学年の問題に加え、「ジオパークとは何か」を答える問題

高学年は、中学年の問題に加え理科で習った台風について、○×問題を5問

○10回目（11月2日）は、9回目の続編となる問題が出題されました。

低学年は、根知小学校でのうがいの仕方についての問題

中学年は、低学年の問題に加え、根知小学校区にあるジオサイトについて、○×問題を5問

高学年は、中学年の問題に加え理科で習った土砂災害について、○×問題を5問

- ①流れる水のはたらきには、しん食と運搬、たい積の3つがある。()
- ②川が曲がっているところの外側よりも内側の方が流れが速い。()
- ③土石流の流れる速さは、およそ時速20～40kmであり、小学生が100mを走る速さよりもはやい。()
- ④日本でおきる土石流は、全都道府県の中で新潟県が1番多い。()
- ⑤日本でおきる地すべりは、全都道府県の中で新潟県が1番多い。()



板倉地すべり資料館掲示資料より

☆ニューチャレンジャー登場！ついに、全員がそろいました！

その12:チャレンジャーオレンジのひみつ！ その13:チャレンジャーパープルのひみつ！

ミッションは、食中毒から命を守ること！

変身する前はおいしい・・・をつくるんです

ひみつのアイテムの一つは、冷蔵庫！

ミッションは、化学物質から命を守ること！

変身する前は、・・・ひみつです

ひみつのアイテムの一つは、ハイパーカウンター！

チャレンジャーカードの右下の数字1から4を集めると、チャレンジャーに関係のあるDMカードがもらえます！チャレンジャーカードとDMカードをたくさん集めると、カードゲームとしての使い方もいろいろと工夫できます！家族でカードゲームのルールを考え、防災ゲームをしてみてください。

根知小発！ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育 2012



☆これまでの取組を総括してみました！※よめないは、おうちのひとからおしてもらってね

4月某日、防災戦隊チャレンジャー参上！チャレンジャーは、これまで、「児童や保護者、地域住民が災害から命を守る知識や技能を身に付けること」を目標として、さまざまな活動を仕組んできました。今年度も残すところ3カ月となり、これまでの取組を振り返ってみました。

そこで、これまでの取組に対して、それぞれ「もしも災害が起きたときに」役に立つ体験ができた(役に立つ知識だ)と思うかどうか、中・高学年の児童(23名)からアンケートに答えてもらいました。

とてもそう思う □ どちらかというそう思う ■ どちらかというそう思わない ■ まったくそう思わない ■



- ☆運動会でのサプライズ避難訓練・・・
- ☆災害図上訓練(防災・宿泊体験)・・・
- ☆避難所生活(防災・宿泊体験)・・・
- ☆安否札の配布(防災・宿泊体験)・・・
- ☆消火訓練(防災・宿泊体験)・・・
- ☆水防訓練(防災・宿泊体験)・・・
- ☆飲み水調査(防災・宿泊体験)・・・
- ☆防災MISSION・・・
- ☆非常サイレンの日・・・

	0%	50%	100%
とてもそう思う	96	9	4
どちらかというそう思う	91	9	9
どちらかというそう思わない	100		
まったくそう思わない	95		5
	100		
	96		4
	70	30	
	87	13	
	83	17	

どの取組も肯定的な評価が100%になりました！

☆「運動会でのサプライズ避難訓練」については、新聞報道を見た学校関係者から多くの反響がありました。「すごいね・・・」「うちの学校でもやってみようけど・・・」・・・地域住民を巻き込んだ防災訓練を始めるファーストステップです！



☆「防災・宿泊体験学習」について「勉強になったこと、ためになったこと」として、児童が1番多くあげたのが避難所研修(23ポイント)でした。特に「ボールの水をトイレの水として活用できること(6ポイント)」「食べ物をがまんしたこと(6ポイント)」をあげていました。他に「もしも避難所生活になったら全部大人まかせではなく、子どもたちも指示を出してみんなをひっぱっていくことが分かった。」という感想がありました。立派です！

2番目は消火訓練(10ポイント)で「使い方や消火器を使う前に大きな声で“火事だ！”ということが分かった」などをあげていました。3番目は、災害図上訓練(5ポイント)で「地すべりがおきそうなところを学習して、どこに逃げればいいのか考えることができた」などをあげていました。

防災・宿泊体験学習に参加した保護者から以下のような好評をいただきました。

「1年生から大人まで一緒に学習できたことはよかったと思います。勉強になりました。」「(炊き出し担当)カレーはすぐにできてよかった。本当に水がでなかったのが、勉強になりました。」「リアル断水、水が使えずサバイバル気分でした。水の大切さ、洗い物を出さない工夫・・・少し考えた気がします。衛生面もあります。子どもたちにはそんな知恵をつけてもらいたいと思います。来年もぜひ！」「来年は2泊3日に！」

学校評価保護者アンケートから

・9月6日～7日防災宿泊体験学習は、子供たちにとってとても良い経験だったと思います。図上訓練ではどこに何があるか(飲める水・消火栓など)大人も普段車で通るだけで見逃していることが多いので、今から意識して暮らすことがとても大切だと思います。(子どもの方が分かっていた)避難所生活でも、みんなで協力することの大切さを実感できたと感じます。



根知小発！ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育 2012



☆「根知っ子防災MISSION」への取組について、中・高学年に聞いてみました。

ほとんどの問題を家族といっしょに考えた：30%、どちらかというといっしょに考えた：57%、計 87% の児童が家族といっしょにMISSIONに取り組んでいました。

ほとんど自分で考えた：13%の児童は、それはそれで立派なのですが…。この取組は、家族でいっしょに考えることで、防災の知識を児童だけでなく保護者にも広げていくことをねらっています。こうした意味で、ねらいに迫ることができていると考えます。

GCB48じゅんメンバー13名、みならい生9名 誕生！

学校評価保護者アンケートから

- ・ミッションの問題は、親も分からない問題があって難しいです。
- ・問題に正解するもらえるカードは、子どもの励みになっています。カードがそろうとゲームができること、親も楽しみにしています。



現在、これまでのMISSIONを全部クリアした児童には、MISSIONブック（ファイル）を進呈しています。これまで、高学年4名、中学年3名、低学年は・・・です。すべてクリアできるよう、ご協力をお願いいたします。また、ゲットしたカードを使用したゲーム「災害マネジメントカードゲーム」の解説書を作っていますので、こちらもお楽しみに！

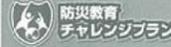
☆「非常サイレンの日」の取組では、「時々サイレンをならして、火事になったときは、こんな感じでやるということが分かった。」という感想がありました。火災報知器のサイレンは、屋内から屋外へ避難させることを目的としているので、屋外にいる児童には（緊張感のない）小さな音しか聞こえません。それでも、非常サイレンが聞こえたら活動を止め、放送を聞こうとする真剣な姿が見られます。



学校評価保護者アンケートから

- ・とても良い学習だと思います。起きてほしくないことですが、いざという時は子供たちを中心に学習していることが役に立つと思います。
- ・代替えでの生活方法（ペットボトルでご飯を炊く）や火の焚き方など、非日常的な時の知恵を身につけてほしい。大人になったとき、一つは記憶に残っていると思う。毎年、防災教育の後、一回り成長しているように感じます。ありがとうございました。
- ・災害は起きてほしくはないですが、備えることは大切だと感じています。地域と一体となって学習していて、子どもも自分のこととして学んでいるのではないかと感じています。
- ・子どもの地域理解を深めるのにとってもいいと思います。
- ・地域に起こりうる災害を学ぶことで、より地域理解が深まっていると感じます。親が知らないことも教わってきて感心しています。
- ・子どもから大人まで地区全体で取り組めればと思います。
- ・防災宿泊体験、安否確認礼の配布など、防災教育は非常によかったです。…中略…安否礼は糸魚川市全体の取組になるといいなと感じています。

今年度は、児童が配布した安否礼を活用した防災訓練が一部地域で行われたり、公民館で避難訓練と防災研修が行われたりし、学校・地域防災がだんだんと構築されてきました。地域にある唯一の学校、地域における要として、これからも地域とともに防災や社会福祉に取り組んでいきたいと考えています。今後ともこれまで以上のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



STAGE5:防災教育チャレンジプラン 2012 終結、そして・・・

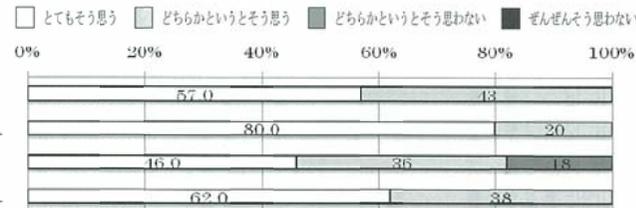
0. 終わりは新たな始まり

今、ジオパークが防災教育の教材として注目を浴びている。そんな折、糸魚川市内から防災教育チャレンジプラン2013へ応募する意思表示が・・・糸魚川ジオパークにおける防災教育が繋がった！

1. 2012年の成果

- ・今年度の1番の成果は、防災教育カリキュラムの概要など形に残すことができたことである。形に残すことで、次年度以降の活用や応用が容易になり、継続性が期待できる。
- ・2011年から保護者や地域を積極的に巻き込んだ防災教育を継続したことで、「学校が頑張っているのだから…」と保護者、地域の理解者が多くなったことである。市教育委員会においては、当校の取組を市内に広げようと、市教研で防災研修を設定したり、防災教育推進校を指定する働きかけが行われたりするようになり、防災教育チャレンジプランの後継学校も決定するに至った。
- ・2年間継続して取り組んだことで、以下のように当校の防災教育の内容が格段に進化したことである。

問い：総合的な学習の時間の学習では、調べたことだけでなく、「根知の自然（ジオパーク）」と「災害」、「地域の人々」の3つについても考えることができたか？



2. 学校教育における課題

学校は、児童にとっても教職員にとっても楽しいところではなくてはならない。そのことを意識した防災教育を特にこの2012年度は心がけてきた。しかし、当校で開催した研究協議会において、当校の取組を聞いた参加者から「一定の成果があったと聞いて安心しました。これだけやって成果がなかったら大変なこと…学校はいろいろやる事が多く忙しい、これに加えて防災教育をやるのは無理！…安全教育をしつかりやっていけば、防災教育は必要ない！」という主旨の意見をいただいた。「過ぎたるは、及ばざるが如し…？」とハッとした。

学校職員は、あれもこれも他からやらされている意識が強く、学校全体が実態をつかみきれない多忙感で覆われ、新しい取組を拒絶する傾向がある。当校も2011年度の取組が始まるまで同じ考え方であった。しかし今は、防災教育チャレンジプランに取り組んで本当に良かったと実感している。

3. おわりに

ご支援をいただきました糸魚川市教育委員会、糸魚川市消防本部・防災室、根知振興協議会、根知公民館をはじめとした多くの皆様へ感謝申し上げます。「ご支援誠にありがとうございました。」

「人は一人で生きてはいない。だから、日頃の関わりが大切！これからも地域とともに歩む！

防災教育カリキュラムの概要もと(2012 試案版)

糸魚川市立根知小学校

	特別活動	道徳	総合的な学習の時間	社会	理科	国語	算数	体育	図工・音楽・外国語
1年	※非常口の確認 ※廊下の歩行の仕方等 ※交通安全指導(自転車の乗り方等) ※避難訓練①②③(お・は・し・も) ※JRC活動 ※児童会による募金活動	A ○4(5)郷土愛 「大すき!わたしたちのまち」		○学校たんけん・町たんけん ○好きな町 ○安全な歩き方 ※非常口・避難場所・危険箇所の確認、学校安全マップの作成 ※敬老会参加による地域行事への参加の意義		○かるたをつくらう ※雪にもなる危険を確認	○長いもの長さ ○たんい ※津波の高さ	○着衣泳 ※流水の力を知る ・能率的で安全な集団としての行動(※全学年全運動単元で実施)	
2年	※不審者指導(いか・の・お・す・し) ※熊対応指導(熊鈴等) ※暴風指導 ※火災防止指導 ※水難防止指導 ※感染症予防指導 ※積雪時の安全指導	B ○4(5)郷土愛 「このまちがすき」				○観察名人になろう ※学校・町たんけんの際の観察と記録の仕方			
3年	※熊対応指導(熊鈴等) ※暴風指導 ※火災防止指導 ※水難防止指導 ※感染症予防指導 ※積雪時の安全指導	A ○3(1)生命尊重 「せいいつぱい生きていこう!」(水保病から、被爆問題へ)	A ○伝統・文化の探究	A ○私たちの町、みんなの町 ○くらしを守る ○私たちの県 ※消防・警察等地域防災マップの作成	A ○水のすがたとゆくえ ※水の循環 ○ものあたたまり方 ※節電	○物件や気もちが合ったように書こう ※地域のお年寄りへの手紙	○時ごとく時間 ※地震、津波の到達時間等を話題とする ○長いもの長さのはかり方 ※津波、地滑り		【図工】 ○見る人につたえよう「防災ポスターへの応募」(夏休みの選択課題10月末〆切)
4年	※各種学校行事場面での安全指導 ※GCB48のレギュラーを目指し、防災戦隊チャレンジャーからのミッション(クイズも含む)に答えながら、防災を学ぶ学習(G:ジオパーク、C:コミュニティ、B:防災) ※防災宿泊体験(避難所体験等、特別ミッション)	B ○3(2)自然愛、動物愛護 「いのちびるいしたわたし」	B ○ジオパークの探究 ※水神様マップの作成	B ○住みよいくらしをつくる ○郷土をひらく	B ○電気のはたらき ※節電	○伝えたいものをはっきりとさせて書こう ※社会、総合での活用	○ともななって変わる二つの量 ※雨や雪が時間とともにたまる量を題材化		
5年	※熊対応指導(熊鈴等) ※暴風指導 ※火災防止指導 ※水難防止指導 ※感染症予防指導 ※積雪時の安全指導	A ○3(2)生命尊重 「命」or「稲むらの火」 ○4(8)国際理解 「美徳を守る人」	A ○地域の産業・農業の探究 ※稲作、酒つくりと里山、治山・治水事業	A ○私たちの国土 ○わたしたちの生活と食料生産 ○情報化した社会とわたしたちの生活 ○わたしたちの生活と環境	A ○大地のつくりと変化 ※地震、大地のつくり ○このはたらき ※がれきの下敷きになった人の救命方法	○新聞の編集のしかたや記事の書き方に目を向けよう ○理由づけを明確にして説明しよう ※土石流や降雪量等のグラフの活用	○百分率とグラフ ※地震発生率の確率を題材化 ○高さ比べ ○体積 ※津波の高さを題材化	○けがの防止 ※けがの手当て	【図工】 ○効果的につたえよう「防災ポスターへの応募」(夏休みの選択課題10月末〆切) 【家庭科】 ○つくっておいしく食べよう ※炊き出し ※快適な住まいを考えよう ※避難所・仮設住宅 【外国語活動】 ○防災・安全にかかわる外国語やマターク
6年	※熊対応指導(熊鈴等) ※暴風指導 ※火災防止指導 ※水難防止指導 ※感染症予防指導 ※積雪時の安全指導	B ○3(1)生命尊重 「命をみつめて」 ○4(4)勤労、社会奉仕、公共心 「マザーテラサ」 ○1(1)生活習慣、思慮・反省、節度・節制 「自ら可能性をすてない」	B ○社会福祉の探究 ※老人福祉、安否札	B ○くらしと政治 ※地域の防災まちづくり	B ○天気の変化 ※竜巻・雷 ○台風と天気の変化 ※土石流・風水害 ○流れる水のはたらき ※土石流、砂防工事	○町のよさを伝えるパンフレットを作ろう ・平和の帯を築く ・イーハトーブの夢 ※明治三陸地震	○倍と割合 ※マグニチュードが1大きくなると約30倍 ○単位当たりの大きさ ※津波の速さ	○病気の予防 ※感染症の予防	

1, 2年生(偶数年度)防災教育カリキュラム(2012 試案版)

糸魚川市立根知小学校

月	特別活動	道徳	生活	国語	算数	体育	図工・音楽
4	※非常口の確認 ※廊下の歩行の仕方等 ※交通安全指導(自転車の乗り方等) ※JRC活動	○2(3)友誼・信頼・助け合い きれいな道 ○3(1)生命尊重 「いのちのアサガオ」	●がっこうたんけん ・学校探検を通して、学校職員と触れ合い、親しく接する。 ・学校探検に行き、学校には様々な教室や施設があり、危険な所もあることに気付く。 ※音楽室・ステージ・体育用具室など危険箇所の確認	①あかるいことば 相手の応じて、丁寧な言葉と普通の言葉の違いに気を付けて挨拶できる。 ①どうぞよろしく 知ってほしいことを考え、自己紹介する。		・能率的で安全な集団としての行動(全学年全運動単元で実施)	
5	※避難訓練(お・は・し・も) ※児童会による募金活動 ※不審者指導(いか・の・お・す・し)	○2(1)礼儀 「まほうのあいさつ」 ○4(2)勤労 「はてなのおおきなひら」	●あさがおのたね ・命のアサガオの種を植え、大切に育てようとする気持ちをもつ。 ★はるのあそび<下根知農村公園> ・春の公園で、樹木や草花に親しみたり、施設を見学したりして楽しく遊ぶことができる。★公園や農道のゴミ拾い	②かんさつめいじんになろう 対象を丁寧に観察し、気付いたことや分かったこと、変化の様子を集めることができる。	①なんぼんめ 整理で自分の順番が分かる。 ②時間と時ごとく 避難までにかかるおおよその時間を求めることができる。		
6	※熊対応指導(熊鈴等) ※暴風指導 ※火災防止指導 ※水難防止指導	○2(2)思いやり・親切 「さんぽ道」 ○3(2)自然愛・動物愛護 「たすけて」	●がっこうたんけん ※学校探検をして、学校施設などの危険箇所へ気付く。 ○きれいな道 ・アサガオの花を使った遊びができる。	①なんぼんめ 話を集中して聞き、話題に沿って話したり返したりできる。	①ひき算 食へのと人数の違いが分かる。 ②長さ 津波の高さや水深をmで表す。	○リズムダンス 表現の仕方を工夫し、曲に合わせて踊る。一地域の「お年寄りに発表」。	【音楽】 ○かっこ 進捗に気を付けて鍵盤ハーモニカで演奏する。二地域の「お年寄りに発表」。
7	※熊対応指導(熊鈴等) ※暴風指導 ※火災防止指導 ※水難防止指導	○2(2)思いやり・親切 ※ほくもたより(進める) ○3(1)生命尊重 「羽のなにかぶと虫」	●がっこうたんけん ※学校探検をして、学校施設などの危険箇所へ気付く。 ○きれいな道 ・アサガオの花を使った遊びができる。	②うれしいことば 人をうれしく気持ちにさせる言葉の働きに気付く。	①おひき算 水のかさ リットル、デシリットルのかさを知り、1日に必要な飲み水を測る。	○水泳 ※水に浮きなど、水の中で浮く感覚を身に付け、緊急時も慌てずに行動できる。	【図工】 ○おってたててゆめをのま かみの折り方や立て方を工夫して作ることができる。
8・9	※熊対応指導(熊鈴等) ※暴風指導 ※火災防止指導 ※水難防止指導	○1(1)節度・節制・自立 「ぶんちようになつたマーク」 ○4(1)公徳心・規則の尊重 おじさんの手紙	●あさがおのたね ・公園の植物や樹木の様子 ○いきものさがし 校庭の生きものの飼育を通して、生きものにも自分と同じように命があることに気付く。	①おはなしかいて 話の順序を考えながら丁寧な言葉で話したり、大事なことを落とさずに聞くことができる。			【図工】 ○おんじじい 自分が育ててきたアサガオを題材にして絵を描く一作品を地域の「お年寄り」に紹介。(文化祭)
10	※熊対応指導(熊鈴等) ※暴風指導 ※火災防止指導 ※水難防止指導	○2(2)思いやり・親切 「心」の花 ○1(4)誠実・明朗 「はなごうき」(進める)	●あさがおのたね ・アサガオの種取りと袋詰めを行い、地域の「お年寄りにプレゼントする」。(文化祭)	②お手紙 経験したことから書くことを決め、もらった人がうれしくなる手紙を書くことができる。	①とけい 時計の仕組みが分かり時刻を読むことができる。		
11	※熊対応指導(熊鈴等) ※暴風指導 ※火災防止指導 ※水難防止指導	○1(1)節度・節制・自立 「しんのおおたるち」 ○4(5)郷土愛 「たいすき私たちが町」	★あさがおのたね ・秋の公園へ行き、公園の自然や施設、人々の様子の変化に気付く。 ・落ち葉や木の葉を集めたり、採取などをして楽しく遊ぶ。 ★あそびのひろば ・落ち葉や木の葉を使って遊べるおもちゃを作り、みんなで遊ぶ。	①おはなしかいて 話の順序を考えながら丁寧な言葉で話したり、大事なことを落とさずに聞くことができる。			【図工】 ○なになるかな 自然の材料を使い、形や色を来しながらおもちゃを作る。 一地域の「お年寄りに紹介」。
12		○1(3)勇気 「たかさんの黄色いズボン」 ○4(1)公徳心・規則の尊重 「めいわくダンブ」	○いへのごと 家での役割を考え、自分ができる仕事を見つけ挑戦する。	①かるたをつくらう 冬の言葉を集め、かるたを作る。 一地域の「お年寄り」とかるた大会をする。			
1		○1(1)節度・節制・自立 「ノートのひこうき」 ○2(3)友誼・信頼・助け合い 「こまのプレゼント」	○わたしのかぞく 家族の役割やよさに気付く、家族に感謝し、自分ができることを考えることができる。			○スキー 雪や自然から身を守る方法を知り、上手に自然とかわることができる。	
2		○2(2)思いやり・親切 ※ほくもたより(進める) ○1(2)勤労・努力 「書き方の時間のこと」	◇できるようになったこと できるようになったことが増えたことに気付く、成長した自分に自信をもつことができる。	②すんで考えを出し合おう。みんなできよう。 互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うことができる。	①分敷 正方形や長方形の均等な分け方を考える。		
3		○2(4)尊敬・感謝 「ありがと6年生」 ○4(5)郷土愛 「この町が好き」	◇もうすぐ2、3年生 新しく入学してくる1年生のことを考え、迎える準備ができる。	②楽しかった2年生 2年生の思い出から楽しかったことを選び、家族に伝えることができる。			

3, 4年生(偶数年度)防災教育カリキュラム(2012 試案版)

糸魚川市立根知小学校

月	特別活動	道徳	総合的な学習の時間	社会	理科	国語	算数	体育	図工・音楽
4	※非常口の確認 ※廊下の歩行の仕方等 ※熊対応指導 ※JR C活動 ※交通安全指導(自転車の乗り方)	○みんなが仲良くくらしていくために(新潟水保病の教訓)	○根知の宝を調べよう ・ジオパークについての調べ活動 ・根知川についての調べ活動		○天気の様子と気温 天気による1日の気温の変化について			・能率的で安全な集団としての行動(※全年全運動単元で実施)	【音楽】 ○共通教材(とんぴ) 世代を超えて共有できる歌を学び、避難所生活の中でいかす
5	※避難訓練①②③(お・は・し・も) ※火災防止指導 ※児童会による募金活動 ※対不審者指導(いか・の・お・す・し) ※水難防止指導 ※暴風指導 ※防災宿泊体験(避難所体験等、特別ミッション)	○クリーン作戦(ひろくんのじ) ○神戸のふくこうは、ばくらの手で	○根知の宝を発信しよう ・根知の宝をまとめる ・根知の宝を発信する ・学習を振り返る	○農家の仕事 非常時の食料確保について考える機会とする		③海をかつとばせ 総合の水神様と関連付ける ④一つの花 総合の土砂災害や水害と関連付ける		○平均台運動 高所でのバランス感覚を育てる	【図工】 ○見る人につたえよう「防災ポスターへの応募」(夏休みの選択課題10月末まで)
6	※避難訓練①②③(お・は・し・も) ※火災防止指導 ※児童会による募金活動 ※対不審者指導(いか・の・お・す・し) ※水難防止指導 ※暴風指導 ※防災宿泊体験(避難所体験等、特別ミッション)	○命びろいをしたわたし	○水はどこから 地域の湧水探しを行い、非常時の水に確保を考えるようにする	○物の体積と温度 マッチやアルコールランプなど火器の安全な使い方を知る		④物件や気もちがつたわるように書こう 地域のお年寄りへの手紙と関連付ける		○鉄2運動	【音楽】 ○共通教材(まきほの朝) 世代を超えて共有できる歌を学び、避難所生活の中でいかす
7	※各種学校行事場面での安全指導 ※G C B 4 8のレギュラーを目指し、防災戦隊チャレンジャーからのミッション(クイズも現わ)に答えながら、防災を学ぶ学習 (G:ジオパーク, C:コミュニティ, B:防災) ※感染症予防指導 ※積雪時の安全指導	○佐渡にひびく鬼大悟(ひろくんのじ)	○ごみのしよりと利用 災害時ごみを分別する大切さを知る	○明りをつけよう 災害時の明かりの確保の知識を身に付ける		④ちいちゃんのかげおくり 総合の土砂災害や水害と関連付ける	③長さ 堤防の高さや幅など単位換算ができるような問題を出す。	○水泳 流水・着衣泳体験を行い、いざという時に慌てずに行動できるようにする	【音楽】 ○共通教材(まきほの朝) 世代を超えて共有できる歌を学び、避難所生活の中でいかす
8-9	※各種学校行事場面での安全指導 ※G C B 4 8のレギュラーを目指し、防災戦隊チャレンジャーからのミッション(クイズも現わ)に答えながら、防災を学ぶ学習 (G:ジオパーク, C:コミュニティ, B:防災) ※感染症予防指導 ※積雪時の安全指導	○谷川岳に生きたドクター	○かかわってきた人々のくらし 電気がなくても使える古い道具のよさを考える機会にする	○磁石につけよう 磁石を水に浮かべると方位磁針になることを知る		④れいをあげてせつめいしよう ④写真と文章で説明しよう ※総合での活用			【図工】 ○効果的につたえよう「防災ポスターへの応募」(夏休みの選択課題10月末まで)
10	※感染症予防指導 ※積雪時の安全指導								【音楽】 ○共通教材(もみじ) 世代を超えて共有できる歌を学び、避難所生活の中でいかす
11									
12									
1									【図工】 ○材料からひらめき集めた材料を活用する方法を考える
2							④ともなう変わる量 雨や雪が時間とともにたまる量を題材化		【音楽】 ○共通教材(さくら) 世代を超えて共有できる歌を学び、避難所生活の中でいかす
3									【図工】 ○ここにはきつという 避難所を明るくするキャラクターを考える

5, 6年生(偶数年度)防災教育カリキュラム(2012 試案版)

糸魚川市立根知小学校

月	特別活動	道徳	総合的な学習の時間	社会	理科	国語	算数	体育	音楽・図工・家庭・外国語
4	※非常口の確認 ※廊下の歩行の仕方等 ※熊、野生動物対応指導 ※JR C活動 ※交通安全指導(自転車の乗り方)	○森の絵 役割を自覚し責任ある行動をとる大切さ。	○地域とつながる ・地域のいろいろな世代の方々や交流する方法を話し合ったり、実際に交流活動をしったりする。	○板付遺跡と米作り 自然条件と食料生産の関係を知る。	○天気の変化 大気の流れや気圧や地域に伝わる天気予報について知る。	⑤新聞を読む 新聞から的確な情報をつかむ。	⑤単位量当たりの大きさ 1分あたりの降水量から1時間の雨量を想定する。	・能率的で安全な集団行動(全年・前単元で指導) 大勢で動いた時、自他の安全を確保した動き方	【外国語】 外国人のとも積極的に関わろうとする気持ち(通年)
5	※避難訓練①②③(お・は・し・も) ※火災防止指導 ※児童会による募金活動 ※対不審者指導 ※水難防止指導 ※暴風指導 ※防災宿泊体験(避難所体験等、特別ミッション)	○マザーテレサ 社会のために尽くそうとする気持ち。	○地域の先達にインタビューして、根知や小滝地区の災害の歴史や復興への人々の活動を知る。	○江戸時代 自然災害(冷害・干害)と食料生産の関係を知る。	○台風と気象の変化 台風の進み方と風雨被害について知る。	⑥生き物はつながりの中に 命のつながりの意味とその尊さを考える。	⑥倍と割合 避難した人数と非常食量の割合を調べる。	○体力を高める運動 互いの重さを互いに支える。 とっさのときに自分の身を守る動き。	【図工】 ○防災ポスター 【音楽】 ○ゆでの料理方法
6	※避難訓練①②③(お・は・し・も) ※火災防止指導 ※児童会による募金活動 ※対不審者指導 ※水難防止指導 ※暴風指導 ※防災宿泊体験(避難所体験等、特別ミッション)	○命をみつめて 生きていることの意味を知り精一杯生きる。	○お年寄りや小さな子ども達と共にちからを合わせて行動できるような人間関係を築く。 ・安否札の作成と全戸配布を通して、福祉を考えたり、地域住民とかかわりやすくなる。	○長く続いた戦争 人の招いた災害とそれの歴史を知る。	○電流がうみ出す力 電磁石の作り方や活用方法について知る。	⑤一〇〇年後のふるさとを守る 災害に備えた考え方を学ぶ。	⑥面積 災害で流れ出る土砂の堆積とその力を想像する。	○鉄棒運動 自分の体重を腕で支えて危険を回避する。	【図工】 ○地域との関わり方 【音楽】 ○「われは海の子」でみんなの心を和ませる。
7	※各種学校行事場面での安全指導 ※G C B (ジオパーク・コミュニティ・防災) 4 8のレギュラーを目指し、防災戦隊チャレンジャーからのミッション(クイズも含む)に答えながら、防災を学ぶ学習	○わたしの心のアルプス 郷土を愛し大切にすることを	○おたしの心のアルプス 郷土を愛し大切にすることを	○災害から人を守る 根知で起きた災害と復興の様子を調べる。		⑥平和について考える 災害の歴史と防災の考え方を調べる。	⑥速さ 風速や土砂の流出速度を想定する。	○水泳 水の中でも、自分の安全を確保する。	【家庭】 ○おたしの心の関わり方 【音楽】 ○「われは海の子」でみんなの心を和ませる。
8-9	※感染症予防指導 ※積雪時の安全指導	○泥だらけのスパイク 互いの気持ちを尊重して自分の義務を果たす。	○考えを発信する 調べたり体験したりしたことを整理し、わかったことをまとめたり、それを地域のの人に伝えたりする。		○流れる水のはたらき 流れる水のはたらきと土砂災害について知る。	⑥天気予想する 天候に関する情報から災害を予想する	⑥拡大図と縮図 災害の大きさや防災施設の大きさを地図をもとに考える。		【家庭】 ○身の回りを整頓する
10	※感染症予防指導 ※積雪時の安全指導	○有線電話から携帯電話へ いろいろな場面の携帯電話を利用する時のマナー							【家庭】 ○おたしの心の関わり方 【音楽】 ○「われは海の子」でみんなの心を和ませる。
11		○食べ残されたえびに涙 物を大切に。有効に役立てようとする。							【家庭】 ○身の回りを整頓する
12		○エレベーターとわたし 礼儀の大切さをしり、地域の人と繋がろうとする心							【家庭】 ○身の回りを整頓する
1		○わが家の思い 家族の中の自分の役割を考える							【家庭】 ○身の回りを整頓する
2		○おじいさんのあたたかな目 地域の先達の知恵に対して尊敬と感謝の気持ちをもつ							【家庭】 ○身の回りを整頓する
3									【家庭】 ○身の回りを整頓する

5. ×の数よりも★の数が少ないときは、チャレンジャーカードを何枚か1枚、DM(火災)カードのとなりにおかなければならない。そして、②のプレイヤーの番になる

れい



6-1. ②プレイヤーは、前のプレイヤーがめくったDMカードのマネジメントに挑戦することができる。

前のプレイヤーがおいたチャレンジャーカードを利用することができるので、この場合は赤い★が1つあるチャレンジャーカードがあれば、DM(火災:赤)カードをマネジメントでき、おいてあるチャレンジャーカードも自分のものにする事ができる

そして、さらにDMカードを1枚めくりマネジメントに挑戦できる(1回だけ) ※そのあとは2~5と同じ



6-2. ②プレイヤーは、前のプレイヤーがめくったDMカードのマネジメントに挑戦せずに、DMカードを1枚めくりマネジメントに挑戦することができる(1回だけ) ※そのあとは2~5と同じ



※うらワザ...その②

下のチャレンジャーカードがあれば、どんな色のDMカードにも使うことができる



このカードは★3つ
★5つのもあります

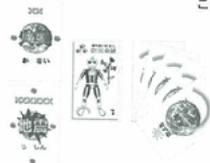
※ DMカードの絆カードがでたら、そのままマネジメントすることができ、チャレンジャーカードとしても使うことができる



※うらワザ...その③

チャレンジャーレインボーは、どんな色のDMカードにも使うことができ、絆カードをいっしょに使うこともできる最強カード!

この場合×は8(赤2+緑6)



レインボーカード1枚と絆カード5枚でOK!

7. 手持ちのチャレンジャーカードがなくなったプレイヤーはゲームアウト!全員がアウトになったらゲーム終了(オーバー)! マネジメントしたDMカード(絆カードもふくめる)の枚数が多い方が勝ち!

※うらワザ...その④

下のDMカードがあれば、ほかのプレイヤーから1枚ずつチャレンジャーカードをもらいことができる



自分の番ならいつでも

チャレンジャーカードとDMカードが多いほど楽しいゲームができます。MISSIONにあきらめず挑戦し、どんどんカードを集めよう!

そして、48枚集めてGCB48のレギュラーをめざそう!



(GCB48レギュラーロゴマーク)

基本のルールとうらワザをしようかしてきましたが、ルールはプレイヤーどうして相談して決めた方がもっと楽しめます!

工夫したことや意見は、ぜひチャレンジャー事務局(代表:ブラック)へお知らせください。まっています!



チャレンジャー事務局(糸魚川市立根知小学校内)
TEL. 025-558-2100
Email: nechi@toigawa.ed.jp

★防災教育チャレンジラン2011(内閣府 防災教育チャレンジラン実行委員会) 防災教育特別賞

★特色ある教育実践校・園(新潟日報 日本教育公務員弘済会新潟支部) 優良賞

★2012年ほうさい甲子園(毎日新聞社 兵庫県 ひょうご震災記念21世紀研究機構) 奨励賞

★防災教育チャレンジラン2012(内閣府 防災教育チャレンジラン実行委員会)